



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日鉄鉱業株式会社

コード番号 1515 URL <http://www.nittetsukou.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 公生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部財務課長

(氏名) 長田 光徳

TEL 03-3216-5255

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	56,996	△1.6	5,387	24.0	5,492	34.8	3,559	84.9
27年3月期第2四半期	57,930	8.2	4,346	△11.5	4,074	△10.5	1,925	△37.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,040百万円 (△56.2%) 27年3月期第2四半期 2,374百万円 (△72.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	42.76	—
27年3月期第2四半期	23.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	166,420		92,926			53.9
27年3月期	170,055		92,466			52.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 89,631百万円 27年3月期 89,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
28年3月期	—	3.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	△6.0	7,500	△26.7	7,000	△27.2	4,500	△24.7	54.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	83,523,195 株	27年3月期	83,523,195 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	289,426 株	27年3月期	286,109 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	83,235,300 株	27年3月期2Q	83,246,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(添付資料)

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8
4. 補足情報	P. 9
連結売上高明細表	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、中国経済の減速により輸出等に弱さが見られたものの、政府による経済政策や日銀による金融緩和策の継続を背景に、企業収益が改善するなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、販売の強化、促進に努めましたものの、売上高は569億9千6百万円（前年同期比1.6%減）と前年同期なみにとどまりました。

一方、損益につきましては、資源事業の収益が改善しましたことなどから、経常利益は54億9千2百万円（前年同期比34.8%増）と前年同期に比べ向上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の増加及び特別損失の減少等により、35億5千9百万円（前年同期比84.9%増）と前年同期に比べ大幅に向上いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[資源事業]

(鉱石部門)

鉱石部門につきましては、主力生産品である石灰石の販売は前年同期なみでありましたものの、原油価格の下落に伴う石油製品の減収等により、売上高は274億9千4百万円と前年同期に比べ4億9千2百万円（1.8%）減少いたしました。

一方、営業利益につきましては、一部子会社において増益となりましたことなどから、38億2千6百万円と前年同期に比べ2億4千5百万円（6.9%）増加いたしました。

(金属部門)

金属部門につきましては、電気金の販売数量の減少により、売上高は228億1千5百万円と前年同期に比べ2億4千9百万円（1.1%）減少しましたものの、円安の進行や銅鉱石の買鉱条件の改善により、営業利益は12億3千4百万円と前年同期に比べ1億7千4百万円（16.5%）増加いたしました。

[機械・環境事業]

機械・環境事業につきましては、環境部門の主力商品である水処理剤の販売は堅調に推移しましたものの、機械部門における販売が振わず、売上高は42億5千7百万円と前年同期に比べ3億8千6百万円（8.3%）減少いたしました。

一方、営業利益につきましては、コスト削減などに努めましたことから、3億1百万円と前年同期に比べ5百万円（2.0%）増加いたしました。

[不動産事業]

不動産事業につきましては、既存の賃貸物件の稼働状況が概ね順調に推移するとともに、販売用不動産の売却がありましたことから、売上高は14億5千1百万円と前年同期に比べ1億2千8百万円（9.7%）増加し、営業利益は8億3千5百万円と前年同期に比べ1億7千6百万円（26.8%）増加いたしました。

[再生可能エネルギー事業]

再生可能エネルギー事業につきましては、新たに太陽光発電所が稼働し、売上高は9億7千8百万円と前年同期に比べ6千5百万円（7.2%）増加しましたものの、地熱部門における減価償却費の増加等により、営業利益は2億5千7百万円と前年同期に比べ3千5百万円（12.2%）減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の部の合計は、前連結会計年度末に比べ36億3千5百万円(2.1%)減少し、1,664億2千万円となりました。

流動資産につきましては、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億2百万円(2.1%)増加し、730億8百万円となりました。

固定資産につきましては、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ51億3千7百万円(5.2%)減少し、934億1千1百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の部の合計は、前連結会計年度末に比べ40億9千5百万円(5.3%)減少し、734億9千4百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億1千7百万円(4.7%)減少し、328億7百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ24億7千7百万円(5.7%)減少し、406億8千7百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部の合計は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ4億5千9百万円(0.5%)増加し、929億2千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績見込みにつきましては、平成27年5月8日に公表した業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,118	19,935
受取手形及び売掛金	25,587	25,315
商品及び製品	4,540	4,989
仕掛品	7,571	9,935
原材料及び貯蔵品	1,948	1,827
その他	7,821	11,084
貸倒引当金	△80	△78
流動資産合計	71,506	73,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,966	25,180
一般用地	16,635	16,620
その他(純額)	16,631	17,134
有形固定資産合計	59,234	58,934
無形固定資産		
のれん	530	454
その他	1,139	1,071
無形固定資産合計	1,669	1,526
投資その他の資産		
投資有価証券	32,444	27,619
その他	5,619	5,760
貸倒引当金	△400	△399
投資損失引当金	△19	△30
投資その他の資産合計	37,644	32,950
固定資産合計	98,549	93,411
資産合計	170,055	166,420
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,643	10,074
短期借入金	9,659	8,885
未払法人税等	1,950	1,240
引当金	957	913
その他	11,214	11,693
流動負債合計	34,424	32,807
固定負債		
長期借入金	19,064	18,235
引当金	494	306
退職給付に係る負債	2,184	2,144
資産除去債務	4,290	4,277
その他	17,131	15,723
固定負債合計	43,164	40,687
負債合計	77,589	73,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	6,149	6,149
利益剰余金	65,645	68,912
自己株式	△139	△141
株主資本合計	75,831	79,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,505	10,294
繰延ヘッジ損益	△252	56
為替換算調整勘定	901	1,015
退職給付に係る調整累計額	△766	△832
その他の包括利益累計額合計	13,387	10,534
非支配株主持分	3,246	3,294
純資産合計	92,466	92,926
負債純資産合計	170,055	166,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	57,930	56,996
売上原価	44,330	42,076
売上総利益	13,600	14,920
販売費及び一般管理費	9,253	9,532
営業利益	4,346	5,387
営業外収益		
受取利息	28	19
受取配当金	377	422
持分法による投資利益	—	9
為替差益	—	109
その他	156	92
営業外収益合計	562	653
営業外費用		
支払利息	192	177
持分法による投資損失	175	—
為替差損	77	—
休廃山管理費	107	141
出向者関係費	161	150
その他	118	80
営業外費用合計	834	549
経常利益	4,074	5,492
特別利益		
固定資産売却益	23	76
投資有価証券売却益	0	44
受取保険金	22	1
その他	—	6
特別利益合計	45	128
特別損失		
固定資産除売却損	98	99
減損損失	118	3
その他	1	22
特別損失合計	218	125
税金等調整前四半期純利益	3,902	5,494
法人税、住民税及び事業税	1,574	1,481
法人税等調整額	226	144
法人税等合計	1,800	1,626
四半期純利益	2,101	3,868
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	309
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,925	3,559

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,101	3,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	647	△3,210
繰延ヘッジ損益	△28	309
為替換算調整勘定	△368	140
退職給付に係る調整額	22	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	273	△2,827
四半期包括利益	2,374	1,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,285	705
非支配株主に係る四半期包括利益	89	335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鉱石 (百万円)	金属 (百万円)	機械・環境 (百万円)	不動産 (百万円)	再生可能 エネルギー (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	27,987	23,064	4,643	1,322	912	57,930	—	57,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	411	—	568	17	—	997	△997	—
計	28,399	23,064	5,211	1,339	912	58,928	△997	57,930
セグメント利益	3,581	1,059	295	658	293	5,888	△1,542	4,346

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,542百万円には、内部取引の相殺消去額44百万円、貸倒引当金の調整額△2百万円、未実現損益の消去額△240百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△1,343百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鉱石 (百万円)	金属 (百万円)	機械・環境 (百万円)	不動産 (百万円)	再生可能 エネルギー (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	27,494	22,815	4,257	1,451	978	56,996	—	56,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	—	598	4	—	719	△719	—
計	27,610	22,815	4,856	1,455	978	57,715	△719	56,996
セグメント利益	3,826	1,234	301	835	257	6,455	△1,067	5,387

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,067百万円には、内部取引の相殺消去額△39百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円、未実現損益の消去額48百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△1,077百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

連結売上高明細表

(単位:百万円)

セグメント	主要品目	数量 単位	前第2四半期連結累計期間			当第2四半期連結累計期間			増減(△)	
			数量	売上高	比率(%)	数量	売上高	比率(%)	数量	売上高
資源事業										
鉱石部門	石灰石	千t	13,518	14,037	24.2	13,311	13,992	24.6	△ 207	△ 44
	碎石	千t	2,554	3,081	5.3	2,602	3,058	5.4	47	△ 23
	タンカル	千t	340	1,832	3.2	333	1,821	3.2	△ 7	△ 11
	燃料その他			9,035	15.6		8,621	15.0		△ 413
	小計			27,987	48.3		27,494	48.2		△ 492
金属部門	電気銅	t	21,879	15,880	27.4	22,582	15,902	27.9	704	21
	銅精鉱	t	14,941	2,999	5.2	21,519	4,662	8.2	6,578	1,662
	その他			4,184	7.2		2,250	4.0		△ 1,934
	小計			23,064	39.8		22,815	40.1		△ 249
計				51,052	88.1		50,309	88.3		△ 742
機械・環境事業	産業機械			2,209	3.8		1,723	3.0		△ 486
	環境商品			2,433	4.2		2,533	4.5		100
	計			4,643	8.0		4,257	7.5		△ 386
不動産事業				1,322	2.3		1,451	2.5		128
再生可能エネルギー事業	千MWh		119	912	1.6	108	978	1.7	△ 11	65
合計				57,930	100.0		56,996	100.0		△ 934

海外売上高

(単位:百万円)

品目	向先	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
石灰石	台湾、オーストラリアほか	1,409	1,535
電気銅	台湾、インドネシア、タイほか	2,281	2,351
銅精鉱	チリ	2,999	4,199
産業機械	中国ほか	157	189
環境商品	台湾	—	2
合計		6,848	8,278